

## 1 中期学校経営方針

### (1) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○全職員が学校経営に主体的に参画し、児童や保護者、地域から信頼される楽しく豊かな学校づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの子どもが、学習の楽しさを実感しながら、主体的に問題解決に取り組む授業を推進し、学力の向上を図ります。</li> <li>・一人ひとりの子どもが、自己有用感をもち、自他との違いを認め、大切にしながら安心して学校生活を送れるようにします。</li> </ul>

### (2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	①児童会活動や縦割り活動等、異年齢活動をさらに充実させる。 ②地域や保護者の協力を得て行われている行事を大切にするとともに、思いやりの心や自己有用感を味わうことができるようにする。 ③子どもの実態をもとに特別な教科「道徳」の指導方法や内容を研究していく。
担当 道徳部	

## 2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

子どもたちは穏やかで、落ち着いて生活することができており、地域や家庭の協力体制も整っている。コミュニケーションの意識も高まっているが、相手との距離感の取り方がうまくつかめない児童も多い。また、「あいさつを進んでしている。」と考えている児童は多いが、「いつでも、どこでも、だれとでも、自分から」という教職員の願いからすると、意識のずれを感じる場面も多い。

## 3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

### 【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育

- ・年間指導計画を活用し、学校行事や各教科等、豊かな体験との関連を図った道徳科の指導を行う。
- ・全学級の道徳の授業を家庭・地域に公開する。(年1回以上)
- ・メンターチームの活動等を利用し、指導方法や教材活用方法を研修し、授業力を高めることで、主体的で対話的な道徳科の授業を目指す。

### 【項目 人権教育】「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校風土の醸成

- ・YPアセスメントの支援検討会による、教職員の人権感覚・意識の向上を目指す。
- ・子どもの社会的スキル横浜プログラムを全校で取り組み、子どもの自尊感情、コミュニケーション力、意思決定や問題解決能力の向上を図る。
- ・子どもの自尊感情を育成するために、「わかった」「できた」を感じられ、安心して自分を表現できる授業づくりに取り組む。